

# **HAPPY ENGINEER** になるために

ソフトウェア研究会IN秋葉原

池田公平

2017/12/8

# 自己紹介

- 名前 池田公平 ペンネーム 五代響
- 年齢 29歳と30ヶ月
- 1977年ごろ、マイクロコンピューターと出会う
- 1980年ごろ、（株）アスキーでPC6001やMSX用のゲームを製作
- 1984年、（株）ゲームアーツ設立。テグザー・シルフィードなどを手掛ける
- 1989年、（有）テクニカルアーツ設立。
- 2003年、ソフトウェア研究会発足
- 好きな事 オートバイレース、スキー、ワイン、写真

**HAPPY-1**

プラス思考と  
マイナス思考

# NGワードからHAPPYワードへ

どうせこの企画は通らないだろう



やっぱりダメだった

NGワード

どうせ

だろう

やっぱり



HAPPYワード

もしかしたら

かもしれない

惜しくも

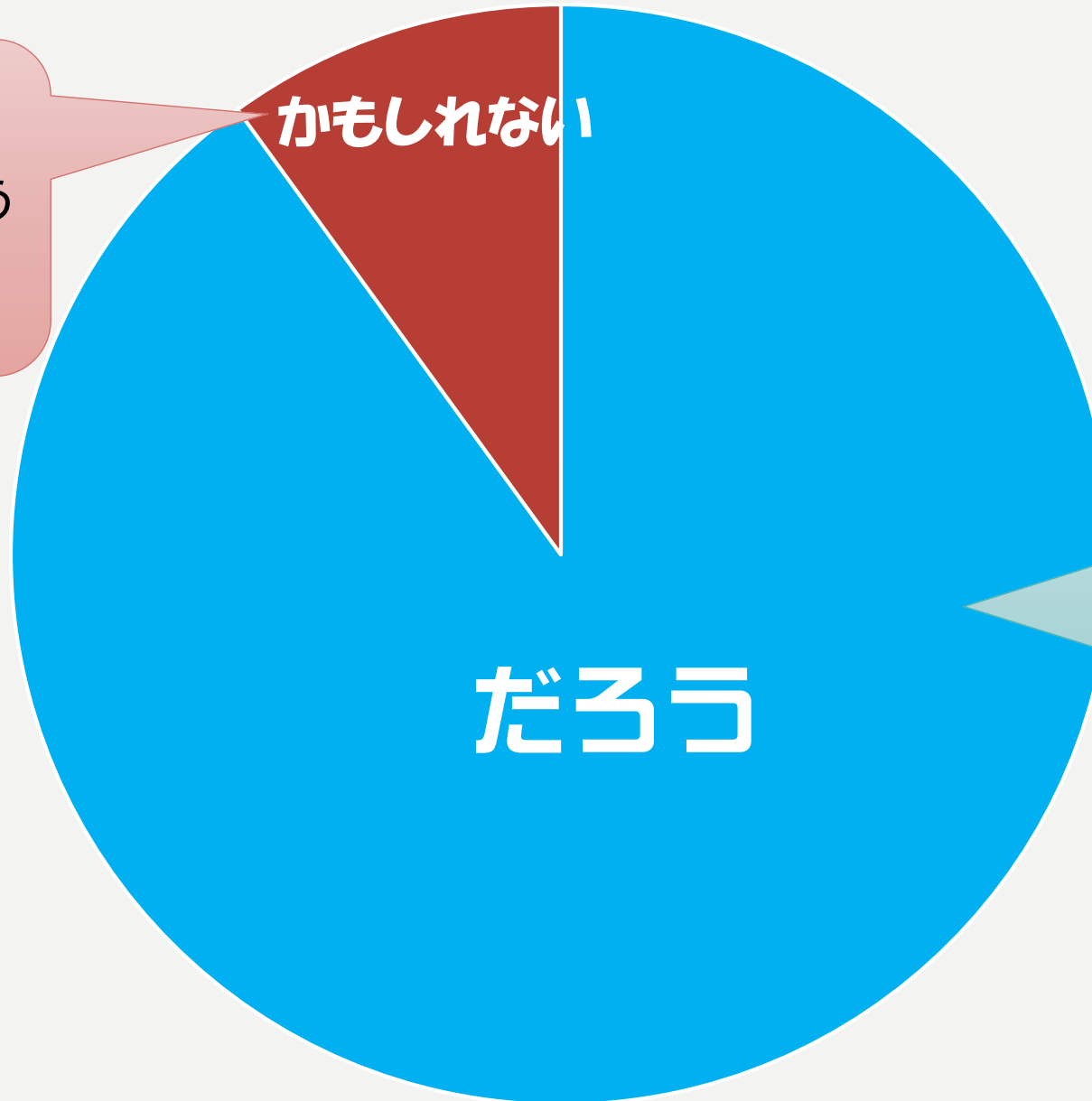
もしかしたらこの企画は通るかもしれない



惜しくもダメだった

エンジニアですから、もう少し分析してみましよう。

# 確率



プラス思考は、  
確率の低いほう  
に思考が働く。

マイナス思考は、  
確率の高いほうに  
思考が働く。

# 予想が的中した時と外れたときの心理の変化

	的中	はずれ
だろう	ほっとする (90%)	とても悔しい (10%)
かもしれない	とてもうれしい (10%)	ほっとする (90%)

プラス思考とマイナス思考では、確率の高いほうの結果になった場合は大きな差は出ないが、確率の低いほうの結果になったとき、心理的に大きな違いがでる。

常に確率の高いほうに思考が働くと、一定確率で悔しい思いをすることになり、それが積み重なっていくとマイナス思考の負のスパイラルに陥る。

# 「プラス思考＝楽観的」ではありません

プラス思考とは

視野を広くもち、小さな可能性を見落とさない

最後まであきらめない

結果を恐れない

ことなのです



でも、どうやって実践すればいいの？



簡単な方法があります

# 根拠の無い自信を持つ

自信を持つために、アレコレ悩む必要はありません。

自信を裏付ける言い訳を揃える必要はありません。  
「やればできる」と自分を信じる気持ち大切です。

もちろん、根拠があってもかまいませんが、根拠がありすぎると「油断」に繋がります。

「根拠にこだわらない」ことが肝心なのです。

# 勇気を持つ

「一歩前に踏み出す」  
「失敗を恐れない」

そのためには「勇気」が必要です。根拠のない自信があれば、勇気を持って行動することができるようになります。

# 迷ったら、より困難な道を選択する

「根拠のない自信」「勇気」の2つは、これを実践するために必要な事でした。  
「より困難な道を選択する」という思考が、プラス思考であり幸運を呼び寄せるキーワードになります。

もちろん、「迷ったら」という前提があります。  
「迷わず困難な道を選択する」のはいいけません。

根拠の無い自信

勇気を持つ

迷ったら、より困難な道を選択する

この3つの項目を実践することが、プラス思考へとつながり、  
**HAPPY ENGINEER**への道でもあります。

# 絶体絶命のピンチに陥ったとき プラス思考で乗り越えよう

1

ピンチを乗り越える事で、自分が成長できる**チャンス**

2

何かを諦めて、新しい事を始める  
**チャンス**

3

仲間同士、結束を固めて困難に立ち向かう**チャンス**

4

自信を取り戻す  
**チャンス**

# ご清聴ありがとうございました。

※このスライドの内容を実践して引き起こされた結果につきましては、当方は一切の責任を負いませんのであしからずご了承ください。

ソフトウェア研究会in秋葉原  
有限会社テクニカルアーツ代表  
池田公平

# 次回予告

**HAPPY-2**

老害エンジニアからの脱却